

## ◆プログラム

9:30	受付
10:00	あいさつ・オリエンテーション
10:05	<b>アイスブレイク（担当：加留部貴行氏）</b> ○心と頭がほぐれ、関係性を高めるスキルを学びます
10:35	<b>ボランティアへの伝達力を高める（担当：加留部貴行氏）</b> 「ボランティアと向き合うことの多いボランティアコーディネーター」の ○ボランティアに対して言いたいことがうまく言えない ○なかなか思いを伝えられない ○もっと気持ちを分かちあいたい 等 そんな悩みに対して具体的なスキルを学びます。
12:30	昼食休憩

\*午後は、（Aコース）と（Bコース）のいずれかに分かります。（各20名程度）

13:30	<b>（Aコース）（担当：後藤麻理子氏）</b> ◎「困ったなあ…」に向き合う ～違和感以上、トラブル未達の軌道修正～  ・ボランティア受入れに伴うリスク把握と分析、そしてその対策は多角的な視点から行う必要があります。事故やトラブルになる前のちょっとした兆候に気づき対処する。リスク意識を磨きたい方にお薦めです。	<b>（Bコース）（担当：加留部貴行氏）</b> ◎分かち合う、内省する、深めあう ～ボランティアとの対話、自分自身との対話～  ・他人の経験から学ぶ（分かち合う） ・「反省」ではなく「内省」をしよう（内省する） ・経験を学習につなげる対話（深め合う） ボランティアと向き合う時に役に立つファシリテーションの視点を学びたい方にお薦めです。
16:40	振り返り	振り返り
17:00	終了	終了

## ◆講師

### 加留部 貴行氏

日本ボランティアコーディネーター協会理事・運営委員長。九州大学大学院統合新領学府客員准教授。日本ファシリテーション協会フェロー。九州大学法学部卒業後、西部ガス(株)にて人事、営業、新規事業部門に従事。学生時代からまちづくり活動に携わり、2001年より福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として2年半派遣。2007年からは九州大学へ出向し、大学改革プロジェクト、ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発や学内外プロジェクトを担当。2011年4月に独立。企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験している「ひとり産学官民連携」を活かした共働ファシリテーションを実践。著書に『教育研修ファシリテーター』、『チーム・ビルディング』（日本経済新聞社・共著）など。

### 後藤 麻理子氏

日本ボランティアコーディネーター協会理事・事務局長。共立女子短期大学非常勤講師。東京都社会福祉協議会に入職後、高齢者の職業・生活相談、東京ボランティアセンターにおける相談・情報活動・企業の社会貢献活動推進・地区ボランティア活動推進等を担当し、その後2年間北区ボランティアセンターに出向し、ボランティア相談、地域のボランティア活動推進、地域福祉活動計画などの策定に携わった。2000年度より東京都福祉人材センター研修室統括主任として社会福祉事業の経営者・職員に対する研修セミナーの企画・運営に携わる。2005年4月より現職。著書に『ボランティアコーディネーターマニュアル』、『ボランティアコーディネーター基本指針』（日本ボランティアコーディネーター協会・共同執筆）